

奈良県山の日・川の日 「山もり・てんこ森」イベント報告

太田 和則

東北・関東の梅雨明け宣言に続き、やっと九州から北陸にかけ、広いエリアで梅雨明けが発表されました。数日前からジ〜ジ〜ジ〜ジ〜と蟬の騒がしい鳴き声と、早朝から焼け付くような日差しとが一緒になり本格的な夏の到来です。

そんな中で海の無い奈良県では「山の日・川の日」として“山もり・てんこ森”のイベントが開かれました。

- ・開催日：平成 30 年 7 月 16 日（月）
- ・会場：県立野外活動センター（都祁吐山町）



【開園を今や遅しと待ち受ける来場者】

奈良・人と自然の会は“大和の自然を未来に”のイベント趣旨に賛同し、今年も女性 4 名、男性 8 名の 12 名が参加。工作用として、竹のブンブンゴマと、のらくろストラップ（各 100 セット）を用意して子供たちを待ち受けました。



【竹のブンブンゴマ】



【のらくろストラップ】

今年のお客さま第 1 号は、仲良しのママ友の 2 家族総勢 6 名（女の子 3 名と男の子 1 名）。

おかげで順調な客足で会場は常に盛況状態でした。



【お客さま第 1 号】

子供たちの真剣な顔、楽しそうな顔、声を聞きながらたっぷりと元気を頂いたような気がします。2 時頃には予定分を消化し成功裏に終了しました。



【会場は立すいの余地なし】

そのほか、他団体の会場も訪問しあって出品物の情報交換も盛んに行われておりました。

特に人の交流の輪が次々と広がっているように見受けられ、イベントの目的が達成されたのではと感じられました。



イベントのご準備をいただいた方々、スタッフとして参加いただいた方々ご苦労さまでした。